



夏休みを迎えるにあたり

副校長 篠田 貴之

6月18日からの授業参観には、ご多用の中、多くの保護者の方々にご参観いただきました。厚く御礼申し上げます。ご来校いただいた保護者の方からいただきました様々なご感想等につきましては、これから学校の教育活動にいかしてまいります。

7月に入りました。夏休みももうすぐです。感染症がまだ心配されているときではありますが、昨年よりもいろいろな計画を立てていらっしゃるご家庭も多いのではないかと思います。

実は文部科学省の委託を受けたお茶の水女子大学が、全国学力・学習状況調査の結果を基にして、保護者の意識等と学力の関係を分析したデータがあります。そこでは、保護者の子どもへの接し方が以下のようであると子どもの学力に高い傾向が見られたそうです。

○生活習慣に関する働きかけ（毎日決まった時間に寝る／起きるようにしている。毎日朝食を食べさせている。テレビゲームで遊ぶ時間を限定している。携帯電話などの使い方に関するルールや約束をつくっている／またはテレビゲームや携帯電話を持たせない。）

○読書に関する働きかけ（本や新聞を読むようにすすめている。読んだ本の感想を話し合ったりしている。小さいころに絵本の読み聞かせをした。）

○学習に関する働きかけ（子どもの勉強を普段みている。計画的に勉強するように促している。子どもが外国語や外国の文化にふれるよう意識している。）

○文化・芸術・自然体験活動に関する働きかけ（子どもと一緒に「博物館や科学館」「図書館」「美術館に行く」）

○子どもとのコミュニケーション（子どもと「学校での出来事」「勉強や成績」「将来や進路」「友達のこと」「社会の出来事やニュース」について話をする。）

家庭の社会的経済的背景は様々ですが、こうしたことをあらためて見直してみることも、家庭で子どもと過ごす時間が長くなる夏休みには大切なことなのかもしれません。学校でも、教員間での指導の共通認識を図り、子どもたちの心の成長や学力の向上に取り組んでまいります。

1年生の窓

1年担任

学校生活にも慣れ、「今日はタブレットを使うかな。」「今日の学習は何をやるの？」と毎日、目を輝かせながら生活しています。

朝顔を一生懸命育てています。「つるが伸びたよ。」「葉っぱが手より大きい。」と成長の様子を伝えてくれます。朝顔とともに子どもたちがぐんぐんと育っていくのが楽しみです。

ふれあいアンケート結果について

生活指導

新宿区では、6月、11月、2月を「ふれあい月間」と位置付け、児童同士の友人関係や日頃からの教員の指導の在り方を見直すために、児童へのアンケートをとっています。児童からの相談やアンケートの回答内容については、学校が責任をもって確認し、必要に応じて、ご家庭に連絡をとり、協力して対処してまいります。

個人面談のお知らせ

教務主任

7月19日（火）～22日（金）・25日（月）～26日（火）

上記の日程で個人面談を行います。学校での様子や家庭の様子について情報交換をしたいと思います。面談日時については先日、各学級より配布しております。都合が悪くなった場合は、連絡帳にて担任までお知らせください。